

2012年度の年次計画である「情報セキュリティ2012」において示された取組の推進状況を検証し、「2012年度の情報セキュリティ政策の評価等」をとりまとめた。

2012年度の評価等の概要

重点対応分野

特に重点的対応が必要とされた以下3分野の取組は着実に進捗しており、概ね所期の成果を挙げた。

- ①国や国の安全に関する重要な情報を扱う企業等に対する高度な脅威への対応強化
- ②スマートフォンの本格的な普及等新たな情報通信技術の広まりに伴うリスクの表面化に対応した安全・安心な利用環境の整備
- ③国際連携の強化

その他の分野

300余の施策について、大多数が着実に推進され、「情報セキュリティ2012」において解決しようとしている課題への対応は概ね予定とおり達成した。他方、一部に限られるが、幾つかの施策については課題を残しており、今後更なる取組推進を図ることが必要。

今後に向けた課題

情報セキュリティ政策会議第35回会合において、新たな国家戦略「サイバーセキュリティ戦略」が決定。同戦略では、リスクの深刻化等の環境の変化に対応するため、様々な課題が示された。

2013年度計画は「サイバーセキュリティ戦略」に基づいて策定されるが、本評価も踏まえて施策が適切に選択され、目標設定され、推進される必要がある。